

# 株式会社WEST inx

## 2017年度活動レポート

(対象期間:2016年 9月~2017年 8月)



Made by WEST



作成日:2017年11月23日





## 目次

環境方針	1
組織の概要	2
認証・登録の対象組織・活動	2
主な環境負荷の実績 6	3～
環境目標及びその実績 6	3～
環境活動計画及び取組結果と その評価、次年度の取組内容	7
環境関連法規等の遵守状況の 確認及び評価結果並びに 違反、訴訟等の有無	8
代表者による全体の評価と見直し	8

# 環境方針書

ウエストグループの基本理念は

「品質第一に徹し安全で使いやすい製品を提供し顧客満足度100%の企業を目指そう」

この基本理念に基づき環境方針を次の通り定めた。」

法令順守の徹底と環境配慮を通じて、安全で安心して使用できる  
ものづくりを行ない社会貢献が出来る企業を目指そう

## 環境方針

私たちはお客様に信頼される製品を提供します  
(この言葉には、下記項目が含まれます)

1. 電気を中心とした省エネ活動を通じ、  
二酸化炭素の排出量の削減に取り組む
2. 節水に努め、水資源を有効に活用する。
3. 廃棄物の削減に努め、資源循環に積極的に取り組む
4. 環境に配慮したものづくりを積極的に取組む。
5. 環境配慮製品の購入・使用を推進し、生産・販売活動  
を通して直接・間接的に環境への負荷を低減する事を目指す。

## □組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社WEST inx  
代表取締役 西 康雄

(2) 所在地

本 社 大阪府寝屋川市点野3丁目18番3号  
 関連事業所  
 (株)ウエスト 大阪府寝屋川市点野3丁目18番3号  
 大阪オフィス 大阪府中央区今橋4丁目3番22号  
 東京オフィス 東京都港区南青山5丁目11番15号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 製造部 村上 満 TEL:072-826-9772  
 担当者 製造部 村上 満 TEL:072-826-9772

(4) 事業内容

住宅・ビル用の錠前、扉錠、門扉錠、建設金物及び引戸用閉鎖装置の設計・開発及び製造・販売

(5) 事業の規模

製品出荷額 50億円 (2017年度)  
 主要製品生産量 270トン

	本社	ウエスト本社	大阪オフィス	東京オフィス
従業員	86名	25名	5名	11名
延べ床面積	5760m <sup>2</sup>		130m <sup>2</sup>	189m <sup>2</sup>

(6) 事業年度 9月～8月

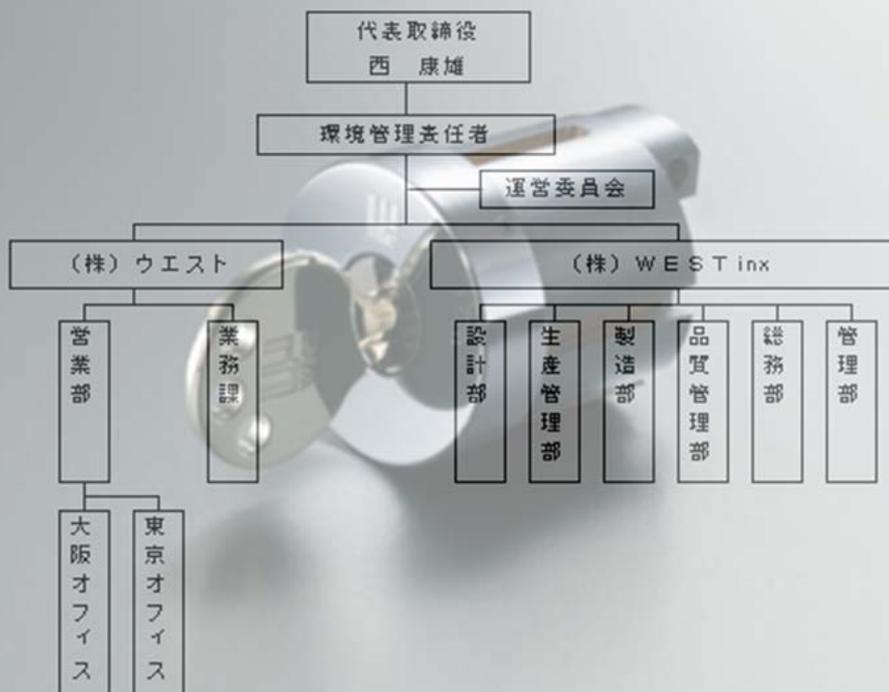
## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社WEST inx 本社

関連事業所: 株式会社ウエスト 本社  
 大阪オフィス  
 東京オフィス

活動: 住宅・ビル用の錠前、扉錠、門扉錠、建設金物及び引戸用閉鎖装置の設計・開発及び製造・販売

ウエストグループ環境組織図



## ※ウエストグループ(2016年度よりグループ全体でエコアクション21に取り組む)

### □主な環境負荷の実績

項目	単位	2012年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	226,124	252,917	239,472	256,874		
廃棄物排出量	トン						
一般廃棄物排出量	kg	10,800	10,650	10,282	10,258		
産業廃棄物排出量	トン	76.8	34	42	35		
総排水量	m <sup>3</sup>	1,541	1,931	1,576	1,564		
電力の排出係数	本社/大阪	0.355	0.516	0.516	0.523		
	東京	0.355	0.522	0.522	0.496		

本社基準年      グループ基準年

### □環境目標及びその実績

項目	年度	基準値	2016年度	2017年度	2017年度	2018年度	2019年度
		(基準値)	(実績/目)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	124,813	179,988	179,315		118,572	117,324
	基準年比	(2012/15)	86%	98%	88%	97%	96%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	69,027	76,714	69,027		68,337	0
	基準年比	(2014年)	67%	97%	63%	96%	95%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	59,077	56,714	57,305		56,714	56,123
	基準年比	(2012年)	60%	94%	98%	93%	92%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	252,917	313,416 239,472 76%	305,647 98%	256,874 84%	243,623 97%	173,447 96%
一般廃棄物の削減	kg	10,650	10,544	10,437		10,331	10,224
	基準年比	(2012/15)	98%	98%	98%	97%	96%
産業廃棄物の削減	トン	76.8	74.5	73.7		73.0	73.0
	基準年比	(2012年)	56%	94%	47%	93%	92%
節水	m <sup>3</sup>	1,659	1,642	1,626		1,609	1,593
	基準年比	(2015年)	96%	98%	96%	97%	96%
文房具のグリーン購入			60%	65%		70%	75%
	目標比	(2012年)	124%	0%	54%	83%	
製品への環境配慮			5件	6件		6件	7件
	目標比	(2014年)	160%		8件	133%	
電力の排出係数	本社/大阪	0.355	0.493	0.523	0.523	0.355	0.355
	東京	0.355	0.500	0.496	0.496	0.355	0.355

%は基準年と %は目標との比      %は目標との比

※二酸化炭素排出量においてガソリン・産業廃棄物及び都市ガスの使用は本社のみ

※製品への環境配慮は本社のみ

## ※本社

### □主な環境負荷の実績

項目	単位	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	226,124	223,951	235,421	211,205	213,865	226,160
廃棄物排出量							
一般廃棄物排出量	kg	10,800	8,925	9,266	8,699	9,805	9,805
産業廃棄物排出量	トン	76.8	84	52	34	42	35
総排水量	m <sup>3</sup>	1,541	1,931	1,527	1,620	1,538	1,495
電力の排出係数		0.355	0.355	0.355	0.355	0.516	0.523

### □環境目標及びその実績

項目	年	基準値	2016年度	2017年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
		(基準値)	(実績/目標)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	112,709	155,634	156,084		104,819	103,692	102,565
	基準年	(2012年)	83%	94%	132,467 85%	93%	92%	91%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	69,027	68,337	66,956		66,266	65,576	64,885
	基準年	(2014年)	75%	97%	43,176 63%	96%	95%	94%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	59,077	56,714	56,123		55,532	54,942	54,351
	基準年	(2012年)	60%	96%	50,517 89%	94%	93%	92%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	240,813	280,685	279,163	0	226,618	224,210	221,801
			213,865 76%	97%	226,160 81%	95%	94%	93%
一般廃棄物の削減	kg	10,800	10,044	10,044		9,828	9,828	9,612
	基準年	(2012年)	98%	93%	9,805 98%	91%	90%	89%
産業廃棄物の削減	トン	76.8	73.0	67.0		71.4	71.4	69.9
	基準年	(2012年)	58%	95%	35 48%	93%	92%	91%
節水	m <sup>3</sup>	1,620	1,604	1,588		1,571	1,555	1,539
	基準年	(2015年)	96%	99%	1,495 92%	97%	96%	95%
文房具のグリーン購入	目標比	(2012年)	55%	60%				
					54% 90%	2018年度より環境配慮品購入に変更し現状把握を実施中		
製品への環境配慮	目標比	(2014年)	5件 8件 160%	5件				
	電力の排出係数	0.355	0.516	0.523	0.523	0.355	0.355	0.355

上段： 目標値 実績値(赤字は未達成)

下段： 目標削減 達成率(赤字は未達成)

※二酸化炭素排出量において2012年度実績と基準値合計との差異は小数点以下の数値の丸め方で生じた誤差です。

※ガソリンの基準年を2014年に再設定し目標を設定。

※節水の基準年を2015年に再設定し目標を設定。(2014年度より給食業者変更により社内洗浄が発生：イレギュラー発生なし)

※本社のグリーン購入でグリーン購入可能な品目は全て切替を終了、環境に配慮しているGPN/RoHSに関しても購入を優先している

※本社のグリーン購入を廃止環境配慮品購入に切替で現在現状把握中(6価ビスから3価orSUS材ビスへの切替推進)

## ※東京オフィス

### □主な環境負荷の実績

項目	単位	基準年	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	10,089	14,578	11,240			
廃棄物排出量	トン						
一般廃棄物排出量	kg	288	287	279			
総排水量	m <sup>3</sup>	7	6	6			
電力の排出係数		0.355	0.522				

(2015年度)

### □環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (2015年度)	2016年度	2017年度	2017年度	2018年度	2019年度
		(基準値)	(実績/目 標)	(目標)	実績	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	10,089	14,518 14,578	13,814	11,240	9,786	9,685
	基準年比	(2015年)	100.4%	98%	81%	97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	10,089	14,518 14,578 100.4%	98%	11,240 81%	9,786 97%	9,685 96%
一般廃棄物の削減	kg	288	285 287	282	279	279	276
	基準年比	(2015年)	101%	98%	99%	97%	96%
節水	m <sup>3</sup>	7	7 6	7	6	7	7
	基準年比	(2015年)	86%	98%	86%	97%	96%
文房具のグリーン購入	目標比	(2015年)	28% 現状把握	35%	43% 123%		
電力の排出係数	0.355	0.355	0.516	0.496	0.496	0.355	0.355

上段： 目標値 実績値(赤字は未達成)  
下段： 目標削減 達成率(赤字は未達成)



## ※大阪オフィス

### □主な環境負荷の実績

項目	単位	基準年	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	6,523	10,860	11,294			
廃棄物排出量	トン						
一般廃棄物排出量	kg	210	190	174			
総排水量	m <sup>3</sup>	32	32	20			
電力の排出係数		0.355	0.516	0.523			

(2015年度)

### □環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (2015年度)	2016年度	2017年度	2017年度	2018年度	2019年度
		(基準値)	(実績/目)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	6,523	9,386	9,417		6,327	6,262
	基準年比	(2015年)	10,860 116%	98%	11,294 120%	97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	6,523	10,860 116%	98%	11,294 120%	97%	96%
一般廃棄物の削減	kg	210	208	206		204	195
	基準年比	(2015年)	190 91%	98%	174 84%	97%	96%
節水	m <sup>3</sup>	32	32	31		31	31
	基準年比	(2015年)	32 100%	98%	20 65%	97%	96%
電力の排出係数	0.355	0.355	0.516	0.523	0.523	0.355	0.355

上段： 目標値 実績値(赤字は未達成)

下段： 目標削減 達成率(赤字は未達成)



## □環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>			
数値目標		■変更無	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
・不要な証明の消灯	◎	継続	電力は本社・東京オフィス・東京オフィス全エリアに関連する項目であり、各人の協力により目標達成が行える項目である。使用量に関しては東京オフィス・大阪オフィスはショールームであるとの基本姿勢を忘れる事無く、暗い(営業をおこなっていない)イメージではなく効果的な節電を心がける事。 (バックヤードとショール内の節電は別問題として考える事)
・空気圧縮機のエア一漏れ点検	◎	継続	
・使用機器購入時電力使用量を考慮する	◎	継続	
・作業効率改善の推進	○	継続	
<b>自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減</b>			
数値目標		■変更無	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
・アイドリングストップ	◎	継続	エコドライブの浸透及び営業活動の周期的変動か？使用量が激減している、車を運転する場合は小型車から優先的に使用しエコドライブを心がける事
・エコドライブの実施	◎	継続	
・車両検査など定期検査の実施	○	継続	
<b>都市ガスによる二酸化炭素排出量の削減</b>			
数値目標		■変更無	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
・空調温度の適正化(冷28℃・暖20℃)	◎	継続	ノー残業デーにより一定の効果が出る事は期待していたが、想定以上の削減結果となった。今後もクールビス・ウォームビスを徹底し目標を達成する事
・冬季以外は給湯器を使用しない	◎	継続	
・作業効率改善の推進	○	継続	
<b>一般廃棄物の削減</b>			
数値目標		■変更無	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
・分別の徹底	○	継続	目標値に対しては削減できているが傾向的には増加傾向と考えられる。分別の徹底を行う事により、今まで産業廃棄物として処理していたゴミが処理できるものは一般廃棄物に移行している面もあるが、ゴミはゴミであるので、削減を徹底する事
・使用済み用紙のリサイクル化	◎	継続	
・帳票見直しによる印刷物の削減	◎	継続	
・梱包材の再利用	◎	継続	
<b>産業廃棄物の削減</b>			
数値目標		■変更無	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
・分別の徹底	○	継続	生産活動の変動により影響を受ける面もあるが、木材廃棄の比率が増加している。協力工場に依頼し可能なものは極力再生可能部材を使用するように協力依頼を行う事
・廃棄物削減キャンペーン	○	継続	
・ダンボールパレットの使用促進	○	継続	
<b>水道水の削減</b>			
数値目標		■変更無	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
・節水シールの貼り付け／確認	◎	継続	生産活動に関連しない項目であるので、各人の心がけ次第で削減が行える項目であるので、節水の心がけを常に持って活動を行う事
・異常発生時の処理の迅速化	○	継続	
<b>文房具のグリーン購入</b>			
数値目標		<input type="checkbox"/> 変更無	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し
・事務用品グリーン購入比率100%	◎	継続	東京オフィスのグリーン購入は継続するが 本社は環境配慮製品の購入推進に目標を変更しより、実務に近い所での環境改善活動を行う
<b>製品への環境配慮</b>			
数値目標		■変更無	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し
・省資源設計	○	継続	製造業としてコストダウンは必修の課題である。環境配慮はコストダウンと同意語に近いので推進を継続する事
・省エネ設計	○		
・環境配慮製品の開発促進	○		

※CB=クールビス WB=ウォームビス

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無**  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	対象
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、木/木くず等)	本社・東京・大阪
騒音・振動規制法	空気圧縮機	本社
浄化槽法	浄化槽(90人)	本社
フロン排出抑制法	冷蔵庫・エアコン	本社・東京・大阪
グリー	文房具・事	本社・東京

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 又、近隣住民及び協力企業並びに顧客よりの環境に関するクレーム及び訴訟等はありませんでした。

**□代表者による全体の評価と見直し**

大阪オフィス・東京オフィスと認証範囲を拡大し、WESTinx・ウエスト一体となった環境改善活動を展開し、東京・大阪オフィスはエコアクション21導入に伴う実績調査時に過剰な反応を示して、ショールームの目的であるお客様に心地よく製品を御覧頂く主目的を忘れた節電実施し目標が未達成となった。今後、適正な使用量を検討する余地がある  
 本社は目標を達成を継続している全体的に環境を配慮して活動を行う事  
 環境活動レポートを開示する事により、我々の環境活動を皆様知って頂く事により業務活動における励みとなり、ムダの削減が推進が加速し より信頼される企業になれる事を期待します。

**□環境活動の紹介**



輸送用のパレットを木製より、製品重量を考慮しつつダンボールパレットに切替を行う



会社周囲の掃除(清掃活動)



輸送時の部品/製品保護に巻いたラップを廃棄物から分別し、資源として再生活用



エコアクションの表示シールを全社員が1日2回は通るタイムカード置き場に掲示して意識の向上をはかる

